

第 1 1 回
多可町生涯学習まちづくり委員会

会議録

《概要版》

事務局 多可町生涯学習課

第11回多可町生涯学習まちづくり委員会 会議録

- 日時 令和5年10月18日(水) 午後7時30分～午後9時00分
- 場所 中プラザ 中会議室
- 出席者
- ・委員 7名/12名(敬称略)
近藤 文好 杉本 真 山本 和樹 遠藤 ひとみ
藤賀 幸子 石塚 郁 後藤 さおり
 - ・欠席委員 蔦木 伸一郎 小林 一光 小寺 祥之 立石 一真 山本 早希
 - ・事務局 生涯学習課 課長 藤原 徹
副課長 梅田 一志
副課長 中里 尚子
課長補佐 橋本 行広
理事兼教育総務課長 金高 竜幸
図書館長 依藤 啓子

- 議 事
- (1) 愛称の検討について
 - (2) 図書館の運営について
 - (3) 第2回ワークショップについて

- 会議結果
- (1) 愛称の検討について
愛称募集の結果を報告(座長)
8月1日～9月30日の応募期間で、委員皆さまのご協力もあり、
総数279件の応募があった。※うち101件が小学生～高校生
委員の選定結果を報告(事務局)
1人5件の愛称を選び、43件の候補が選ばれた。
愛称の決め方を決定(事務局)
事務局案
①選ばれた愛称一覧を確認
備考欄に同名施設などの情報があるので、それも参考にしてほしい。
②その中から各委員が3つを選ぶ
投票用紙に記入し、提出
③多数決で候補を選ぶ
④商標などの問題もあるため、2つ候補を決める。
※表記(カタカナ、ひらがな、アルファベットにするなど)については、事務局に一任。
愛称の決定方法
表記に対して、「事務局で決めるのは大変では？」との意見があったが、
それ以外はなし。その他、特に意見はなかったため、事務局案でいくことになった。
また、欠席委員の意見も聞くため、決定した愛称については、後日、全委員にメールで
承諾を得ることになった。
投票の結果
第1候補 アスミル (A s m i l e) 第2候補 タカメル (t a k a m e r u)
※この愛称は11月12日の第2回ワークショップで発表する。

- (2) 図書館の運営について

- ・図書館の運営について金高教育総務課長より説明
- ・質疑応答

(3) 第2回ワークショップについて

- ・概要について説明（事務局・座長）

①愛称発表

VTR（しょむすび岡田氏制作）で発表予定

②若者たちによる発表会

現在、7団体が発表予定

③建設現場視察

- ・会場をアスパル研修室からロビーに変更

■会議の経過

<p>次第1</p> <p>(座長)</p>	<p>開会</p> <p>みなさんこんばんは。今日は愛称の検討等があったんですけど、愛称の募集に關しましてみなさん非常にご協力いただいて、最終トータル279件集まりました。前回の委員会のときにはちょっと心配をしていたんですが、それから特に子どもたち。小学生の子たちがたくさん応募いただいて、高校生以下で101件募集があったように聞いてます。委員のみなさんならびに、特にB委員さんご協力いただきまして本当にありがとうございます。この279件というのは非常に立派な数字というか、この近隣でもこういった募集した際にはなかなか人口的に見ると出ないありがたい数字だなと思って感激してます。今日はみなさんから投票前もっていただいている中で最終的に決定までいけたらなというところと、あと図書館の運営と第2回ワークショップについてです。なるべく早く終わるようにしますのでご協力よろしくをお願いします。</p>
<p>次第2</p> <p>(事務局)</p>	<p>愛称検討について</p> <p>それでは愛称の検討に入りたいと思います。どうやって決めるのかということも話し合っていたらなかなか時間がかかってしまうと思うので、一つ事務局こうしたいなということを考えてますので、またそれを聞いていただいてご意見いただいて、決定方法を決めたあとに進めていきたいなというふうに思います。</p> <p>まず事務局が考えているのは、いまこちら3枚綴りのA3の紙があります。これには委員さんに選んでいただいた候補43個入っています。その中からまず皆さんに投票用紙をお配りするの、それに1人3個ずつ選んで書いてもらおうかなと思います。無記名で私に出していただいて集計して上位5つ選んで、そこからもう1回多数決を実施するのか、それとも話し合いで決めるのかして、最終的なものを選びたいなと思います。選んでいただく際に1つ注意点があるんですけども、この紙の備考欄があるかと思うんですけども、そこにちょっといろいろ注意書きではないんですけど書いてるんですけども、よその市町で同じ名前の施設があるよとか、あと英単語にするとちょっと意味がどうかとか、あと芸能人で同じ名前の人があるとか、ちょっとその辺も考慮に入れながら選んでいただけたらと思います。あと</p>

商標登録関係でもしかしたら使えないものがあるかもしれないので、最終的には2つ選んでいただいて1個選んで次点でもう1個選ぶみたいな形にしたいなと思っています。

(座長)

ちょっと補足しますと、279件ありました。その中からみなさんに5件ずつ選んでいただいて、今日来られてない方も前もって選んでもらってます。それが1票でも入ってたのが43件になってます。飛び抜けた、例えば10件集まりましたとか飛び抜けたものがなかったんです。正直。3件とか2件とか1件とかいうのが羅列している状態です。ですので例えば15票集まったらもうそれ1つを選ぶということができたんですけど、ちょっと飛び抜けたものがないので申し訳ないんですが、再度みなさんに投票用紙配るので、この中から選んでもらうのと同時にいま事務局のほうが説明しましたように備考の欄にちょっと同一名があったり、他に商標登録をすでにされてるところがあったりというのがあります。そういうのはおそらく選んだとしても使えないとか、何かトラブルのもとになる可能性があるんで、ちょっとそこらへんを備考の欄も見えていただきながら、紙を配って再度ここで集計をさせていただきたいと思います。

ここでみなさんにちょっとご意見を聞くんですけど、今日残念ながら5名欠席をしてます。いちおう定員の12からは7ですからオーバーはしてるんですけど、このメンバーで3票ずつ入れていただいて、それで決定の候補の1、2を選んでいいのか、もしくは欠席者からも聞いてそれもトータルした中で候補の1候補の2を決めていいのか。候補の1が優先なんですけど、なにせ他に商品登録等の問題があって、後で調べて同一のがあったっていう訳にいかないんで、ちょっとその点だけ先にご意見いただけたら。今日の7名で決めてしまってもいいのか、もしくは欠席の者も含めた方がいいのかご意見何かあれば。

(A委員)

7人で候補を2つですか、で他の人にはなんらかの方法でこういうふうに決まったけれども、そこで意見というかそれでいいかどうかっていうのを。いちおうこの中では意見は反映しているということなので、今日出たのをちょっとご連絡して

(事務局)

いちおう了承だけいただくみたいな。

(A委員)

うん

(座長)

それでよろしいですか。

いったんはこの7名で候補1候補2を決めさせていただいて、今日欠席している方に関してはそれを伝えて事後承認をいただくという流れでさせていただけたらと思います。

(事務局)

1つだけ言い忘れてたんですが、表記ですね。同じ名前でもひらがなであるとかカタカナであるとかアルファベットであるとか、それについてはちょっといろいろあるので事務局で一任させていただけないかなというのも今日はお諮りしたいなと思っています。これについてはご意見ありますか。

(座長)

ひらがなのあったかか、カタカナのあったかか、英文字のあったかか。それは事

	務局でお任せしていいですね。
(A委員)	事務局の方ってそれを任せられて決められますか。
(事務局)	そこを決めるのが多分今日1日で決められるかっていうのがちょっとあるので
(座長)	まあ例えば1番でしたらひらがなのあったかがいいのなら、ひらがなのあったかで書いてもらった方がいいです。英文字がいいなら英文字で書いてもらった方がいいです。もうそれで決めていきます。
(事務局)	じゃあその表記も含めて書いていただきます。
(座長)	はい、ありがとうございます。集計のほうお願いします。
(座長)	これも僅差になるんですね。やっぱりね。悩むとこなんですけど、3票のアスミルを第1候補として選ばせていただきます。 非常に申し訳ないんですが2票いただいたソラガ・タカナル・タンタカタンこれ2票重なってます。第2候補が3つというわけにもいかないなので、この3つの中から1つだけ、もう一度だけ書いていただけますか。
(座長)	はい、ありがとうございました。 第1候補としてアスミル、第2候補としてタカナルで決定をさせていただいて、商品登録等確認をした上で今日欠席した者にも承諾をいただいて、最終11月12日のワークショップで発表をさせていただく。 課長この流れで。
(生涯学習課長)	はい。よろしく願いいたします。
(座長)	はい、ありがとうございます。 2番の愛称の検討についてはここで終わります。
次第3	図書館の運営について
(座長)	次3番の図書館の運営について、これは
(教育総務課長)	私から簡単に説明をさせていただきます。
(座長)	よろしくをお願いします。
(教育総務課長)	資料としては近隣図書館の状況というこちらの資料でつけているものです。 複合施設としてまた令和7年4月からということで、図書館の運営もかなり変わるということもありますので、どういう形が望ましいかなという前にまず近隣の状況を確認を図書館にさせていただいております。特に隣接する西脇市さんなんかは複合施設ということで非常に参考になるかなと思います。ということで、

開館時間それから休館日このへんを中心に各図書館の状況を挙げています。形態とあるのは

(図書館長)

単館なのか複合館なのかっていう。

(教育総務課長)

ということですね。ご覧いただくように西脇市なんかはほとんど休館日がない状態です。月に1回です。それから加西も月末のみということで、わりと小野もそうですし三木もそういう形で、けっこう開けてはるんだなというところが近隣の状況です。多可町図書館については現状は月曜日と火曜日がお休みということで、祝日があればずれるという形ですけれども、週2回の休みということで、そこにつきましては図書館とも調整しながら基本的な形としては休館日をできるだけ少なくするという方向で考えていく。逆にいうとまちづくりプラザを利用される方が来られたときにできるだけ図書館を開けておこうというスタンスでいま考えてます。当然図書館の協議会の方にもお話をしながら協議していくということで、それは12月1日なのでまだ内部の状況であるということでお断りをしながら説明するんですけども、先ほど申し上げたようにいま週2日の休みをできるだけ減らそうということで、できればミライエのようにほぼ毎日開けてる状態でいけるかどうかいうところを模索してるということです。まあそうなるとかなり人がいるということになりますので、運営上の現実的なところもいま状況をどれだけの人がいるかいうところを確認しながら調整をして、12月の図書館協議会等で意見をいただきながら、できるだけ早いうちに運用について確定したいというふうに考えています。ただ西脇図書館の場合は一番右のところを見ていただくと、かなりの職員といいますか15人なんです。多可町で15人用意できるかというところと正直いいますといま調整してる中ではむずかしいというところがありますので、開館時間をまったく同じようにできるかということも含めて考えてます。いまだったら10時から18時という時間で、まあ言ったら1つのクールという勤務の時間で賄っているんですけど、西脇の場合だったら1日に2つの班で組み合わせる開館しているという形なんですけど、そうすると人数が多くなるのでそれはちょっと無理かなというふうに考えてます。そうすると開館時間は当初は西脇のミライエと同じように9時半から19時は難しいかなとも思ってますが、その辺ちょっと調整をしながらいま考えてるということです。かなり多くの方の利用が想定されます。今も多くの方に図書館利用はいただけてますが、ご存じのように場所の問題、しかも図書館しかないので図書館をめがけて来られてたんですが、今後はまちづくりプラザを利用される方も図書館の利用というのも考えられますので、そういうところも含めて職員の体制あるいは開館日を考えていくという形の中で、繰り返しになりますが、できれば月1回のミライエのような運用で人力的な配置も当然無理のないようにしていきたいというところで調整というところなんです。

もう一つ言うと、生涯学習課からも話があるかもしれませんが、図書館の配置の中に事務所があって、図書館の全員とそれからその館を管理する部署がまた別に入ってくる想定の中で調整をしますので、どういう形の勤務状況になるかというのもこれから調整する中で、であれば運用の中で少しずつそういう協力連携ができればなというところも。まあなかなかそれぞれの部署の業務がありますのですべてというわけにはいかないですが、そういうことも今後分析しながらそう

	<p>いう形で考えるというところで考えてます。</p>
(座長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、課長から運営形態等の話をいただきました。今からまだまだ決まるところが追加で出てくるんだと思うんですけど、質問とか話があれば。</p>
(D委員)	<p>ちょっと課長の話を聞き逃したと思うんですけど、西脇市と加西市の複合施設ということなんですけど、この職員というのは図書館のみに関わるんじゃないかと、あと生涯学習に関わる別の部屋とかも担当しているということなんですか。</p>
(教育総務課長)	<p>図書館のみです。</p>
(D委員)	<p>図書館のみで15人とか20人ということやね。</p>
(教育総務課長)	<p>そうです。加西市だったら半日とかいう方もけっこう多いみたいですので、フルタイムの方がそれだけいらっしゃるわけではなくて、その辺は上手くシフトを組みながらやられているようなので、勤務形態は少し分かれているとは聞いてますけど、今ここにあがっている人数はあくまで図書館の業務の人数です。</p>
(事務局)	<p>今、多可町は何人なんですか。</p>
(教育総務課長)	<p>正職員2人と図書館司書の会計年度任用職員が4人とそれから臨時で1人。実質的には7人とそれから週末に週1回とか2回とかお世話になってる方がいらっしゃるのと、両プラザに2人と1人で3名。トータル的な人数でいうと12名なんですけれども、さっき言ったようにプラザに3人ということなので実質図書館でいうと7人ほどで回してるということです。</p>
(座長)	<p>ありがとうございます。他に何か。</p>
(A委員)	<p>運営についてということなので、現行の近隣図書館の状況ということなんですけど、もし新しい施設がまちづくりプラザのところ夜10時まで開館しますってなったときに図書館が6時、7時っていうふうなレベルで閉館する。今のお話というのは現行の体制なんかがありますけど、住民のニーズとかそういったところと合わせて考えるとどういうふうになるんでしょう。図書館の利用者のニーズってどんなものを想定されてるかっていうところをお話いただけると。</p>
(教育総務課長)	<p>やはりミライエさんの時間というのは、たぶん施設の開館よりも早めに閉められてるというところの話を聞きます。多可町でも両プラザが10時まで開いてます。そこは図書館というよりも図書室というかなかなかフルに活用できていないかもしれませんが、いちおう返却等はできるので、まあそういう意味ではそういう図書館・図書室の状況も確認してもらったんですけど、1時間に1人2人という状況です。ですから多可町の状況の中でまずはフルに開けるとまあ開けるのがベストなんですけど、そうなると言い方難しいんですけど、費用的なもの、人件費含めて非常に厳しい部分がありますので、まず西脇市さんの状況を分析する中で、一旦は18</p>

時なのか19時なのか調整をしますけど、例えば22時まで開けるとしてもそこまでたぶん最初からもっていくっていうのは難しいと思ってます。

(A委員) はっきり言ってこんなに人数入りますかっていうのが印象です。こんなにいるんでしょうか。

(教育総務課長) 例えば西脇市さんが15人

(A委員) はい。15人とか

(図書館長) これだけ月に1回の休みになると祝日も出ますし、いま週休2日いうことなので2日を確保する。まあ当然年休をなんらかの用事で取らなければいけない。お話をしている。イベントをしている。会議があったらそちらに職員は出るといったら、たぶん人数が当然そこで散っていくと1日に残る人数が何人残るのかといったときに、いま西脇市さんでもカツカツだと言われている。少なかったら4人、5人になるときもあるっておっしゃってて、結局早出と遅出をつくることによって紙の上だけで見ると朝は少ない、夕方も少ない、でも真ん中は当然重なってて多くなる。数的には多くなってますけど、そのときに単純に数が多いっていうよりもそのときに何をやるかということだと思っただけですね。カウンターに出ている者、当然ほかのこと、レファレンスなりする別の業務が当然前に出ているときだけではない業務もあるので、そこで考えていくと長く開けたときにどれだけ人数いるかって計算していくとやっぱりだいたいここですし、三宮とか街の方へ行くともっとものすごい数の人数をあげられてますので、それは必要だと思います。ただこれ少な目とは言いませんけど、ギリギリのラインでどこの図書館も数はあげられてきてると思います。

(A委員) 例えば6時以降については1人で、例えば学生が自習をしに来ますと。10時まで。それにいま想定されているような人数は必要なくて、いちおう最低限それこそボランティアが詰めたっていい可能性も。それだけでできるわけではないと思っただけですけど、必要最低限の何か、もう少しこれだけ近隣のところがこんな時間に閉まっているのであれば、特色を出すとするニーズがあればということではあるんですけど、けっこう遅くまで開いてるなっていうのは特色を出せるかな。まちプラをほんとに利用してもらおうと思うと、例えば仕事終わってその後ここへ来て何か活動とかしてみようっていう人が、そういう人たちを呼び込みたいな、来られるといいなっていうのが内心あるんですけど、結果は別にして可能性として魅力ある施設にするにはこういったこともできるよってなんかあるともう少し議論が盛り上がるっていうか、そんな気もするんですけど。現行から入ってしまうとどうしても。ニーズの掘り起こしじゃないですけど、なんとなく魅力ある施設にするにはどうしたらいいかっていう視点での議論があってもいいのかなと内心思ってます。

(図書館長) サービスという意味でご意見というかそういうのは出てくるのは当然で、片方は10時まで開いててどうなのかというのは分かっているんで、それはきちっと聞いた上で、これからこっちがだからできないとかじゃなくて、それはしていこう

というのは前提として、ただ単に人がいて本だけ貸したらええやんとかいう単なる貸本屋みたいには絶対したくないので、やっぱり人がいて尋ねられて答えられる。プラザがどうのこうの言いませんけど、今だったら単純に借りたいていう利便性はあるけど、そこで尋ねたことに対する答えをいただけるかといったらやっぱりある程度積み重ねて専門性を持ってしていただきたいというのが図書館に勤めてたらその思いはあるので、そこのすり合わせっていうんですかね、そこがボランティアであっても住民の方であっても、きちっとそこは詰まっていって、単純な貸す人がいるだけみたいなことにならへんていうことを踏まえた上で、その先の議論というか話になる。今まで人のサービスというか、あたためてきたものを上手く生かしながら、まずは進めて更にこうしたらいいん違うかないうところは一緒に、みんなのまちづくりの図書館であったりするので、考えていけたらなと思っています。

(A委員)

わかりました。

(座長)

はい、ほかに。

(C委員)

そしたらA委員さんは新しい図書館が何時ぐらいまで開けたらいいというふうに思われますか。

(A委員)

それはまちプラが開いてる同じ時間まで開いてたらいいのかな

(C委員)

毎日

(A委員)

毎日

(C委員)

その時間帯にどれだけの利用者があるとかいうことはお考えになりますか。

(A委員)

それでそのニーズっていうのがどれだけあるかっていうのを踏まえて、今のサービスでも自習にだけ使う利用の仕方できますってあるサービスを限定してその時間っていうふうな

(C委員)

例えば図書館で自習しなくても、隣のプラザが開いてるんだからその学習室を使えば十分ですよ。必ずしも図書館でする必要はない話ですね。

(A委員)

ないですね。ですからそこはよくニーズ、ましてやちょっと時間っていうのが利用者があるんであれば、じゃあ10時くらいまで開いてていいのかなっていう感覚はあります。

(C委員)

10時まで開いてて助かる人はそれは中にはいらっしゃいますよ。10時まで開いてたらいいのにな。仕事終わるのが9時やから今から帰って10時まで開いてたら助かるなどかっていう方はいらっしゃると思います。だけど他の近隣の図書館と差別化を図る特色をつくるという意味でそういうことをしても、よその町とか街の方から多可町図書館が10時まで開いてるから、例えば加西の人が多

可町図書館に来るかっていったらそんなことはまずありえないんですね。だから町内の人でどれだけ10時まで開いてて利用するかっていう、そういうことを考えたらずムダ。

(A委員)

だからそういうニーズがあるかどうかですよ。1人でも使いたいという人がいたらその人に応えるのか、それともそういうことはニーズがないというふうに割り切ってしまうのか。

すいません。全然こうしないといけないと言ってるわけじゃないんです。

(座長)

ご意見としてはあると思います。僕いま印象的だったのは、ただ単なる貸館にしたくないというかそういったことを言われましたよね。素晴らしいなと思って。確かに八千代プラザ開いてます。夜遅くまで。借りることはできるんですよ。でもその方は図書館の専門でもなんでもないしというところで、じゃあそれが良いのか悪いのかいうところで、プライドとしてただ単なる貸本を目指してるんじゃないってところは素晴らしい形だなと思うので、上手にプラザと連携がとれて、その中で新しいままでちょっと図書館に寄られなかった方が寄られるようになる。逆に図書館に寄られた方がプラザを活用していただける上手い流れになればいいと思います。開館時間とかいうのは職員の数とかいろいろな問題があるので簡単には増やしたり減らしたりができないので、それは追々考えながらというところで。ただ非常に館長の熱意というか伝わったと思うので。

(B委員)

新しい図書館というのは、開館時間が長いとかそういうことじゃなくて、今の新しい図書館っていうのは図書館の人だと思うんですね。あの人に分からないことを聞いてみたい。それを今言われてたレファレンスですね。図書館はレファレンスの時代に来てて、こんなことを聞きたいけど1人で調べるんじゃないで、その図書館員さんにお話を聞きたいとか、それからパスファインダーとってこういうことを調べたいんだけどその道筋を教えてください人が図書館の職員さんということで、新しい図書館って図書館員のお人柄とって変ですけど、人によって成り立っていくのも新しい図書館の考えだと思うんです。だからそれこそ時間が長くて、館長さんが貸本屋じゃないんやと言われた本当その通りだと思うんです。昭和の人間は図書館がないとこで育っているの、先生からおとなしく話を聞いて自分で本を読んで、小説読んでというような教育しか1950年くらいからですから受けてきてないんですけど、今の新しい図書館というのは何回も言うように人だと思うんですね。だから図書館は人を集めたいというのはそのことだと、私は新しい図書館を目指すのは図書館の職員さんを増やすとかじゃなくて、みんなが話を聞きやすいなっていうような人たちが短い時間、今までの時間であってもいいけど、そういう方向が新しい図書館じゃないかなと私は思ってるんですけど。

(C委員)

それはでもプラザも同じですよ。

(A委員)

そうだから余計、仕事をしている人はその仕事が終わった後、行きたいところになりそうな気も一方でしたりするんですけど。

<p>(B委員)</p> <p>(図書館長)</p> <p>(座長)</p>	<p>今度は土曜も日曜も開ける方向みたいですのでね。</p> <p>できるだけニコニコして、職員が疲弊した顔でお迎えするのではなく、ああ今日も来てくれちゃったなどかって、みんながいつ行ってもぶすっとしておるんやなしに、職員の方も楽しいわと思って仕事して、今日もA委員さん来てくれたったわとか、やっぱりそう思って仕事したいんです。理想なんかもありませんけどやっぱりそういうような形で、そこでさらに今言われたようなサービスがどこなんかいうのは、もうちょっといけるでとか、今人が足りへんのやったらできる中で来られた方に気持ち良く帰ってもらえるようなそういう施設にしたいので、そこら辺はまた協議会でも12月にこう思ってますという話はしますので、また追々と結果をご報告できたらと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>はい、ありがとうございます。 図書館運営についてほかに何か質問は大丈夫ですね。</p>
<p>次第4</p> <p>(座長)</p> <p>(事務局)</p> <p>(座長)</p>	<p>第2回ワークショップについて</p> <p>なければ4番目の第2回ワークショップについて、まずは事務局から説明をしてください。</p> <p>第2回ワークショップなんですけど、資料で当日のスケジュールを渡しているかなと思います。この前の委員会の中でもちょっと話があったんですけども、内容としては最初に今日決めさせていただいた愛称のお披露目ということで、そのときに皆さんに初の発表をさせていただいて、採用された方に感謝状なり賞品をお渡ししたり、そういうイベントをさせていただきたいなと思っています。それが終わったら次2限目で、若者たちのメッセージを聞こうということで座長に大変ご尽力いただきまして、ここに書いてます7つの学校、西脇高校、西脇北高校、中町中学校の子だと思んですが歌舞伎クラブに入っている子と多可高校の子たちと北はりま特別支援学校の子たちと日本語教室に来られている外国人の方とか兵庫教育大学の学生の方、数は多少増減する可能性があります、いまのところでは7つのグループで持ち時間10分で発表をしていただいて、プラザでやりたいこととか、自分たちがどんなことができるんやとか、まちづくりをどうしていきたいんやとか、そういう夢を自由に語っていただこうよということでしていただいています。詳しくは座長からお願いしたいと思います。</p> <p>今、説明していただいたとおりです。この11月12日、前のワークショップみたいに机を囲んで話し合いをしてとかいうワークショップではありません。若者が前で順番に発表します。それを聞いていただくと。ですから基本的には受け身なワークショップになります。ただし受付であるとか諸々で人がいます。できる限り12日すべての時間じゃなくても結構です。ご協力をいただいて参加を委員の方お願いします。特にあとで2限目の説明をしますが、いま一生懸命中学生高校生が集まって侃々諤々とああでもないこうでもない資料をつくっています。手書きがええやとかパソコンで作らなあかんとか一生懸命やってくれています。それに対してただ単に聞くだけじゃなしに、できれば委員の人は1人1校決めますんで質問を</p>

してあげてほしいです。あんまり難しい質問はあれですけど、質疑応答をしてやってほしいんです。もちろん一般の参加者の中からもされるとは思うんですけど、一生懸命考えているものに対して応える意味も含めて、委員の方が質疑応答をぜひお願をしたいと思います。

まず1限目のほうです。愛称を今日予定を決めさせていただきました。どんな発表の仕方がいいかなと思ったんです。ただ単に司会者が紙で読むだけがいいのか、もしくはくす玉を割ってくす玉からパッと出るのがいいかなと思ったんですけど、ちょうどグラレコの岡田さんとちょっと話をして、岡田さんに無理を言って動画的に発表ができないかなということで1分か1分半くらいの動画で、多可町の自然が映って四季折々の自然の映像があってまちプラの映像があって愛称が決定しました。この愛称ですみたいなのを映像でつくってもらって予定にしています。岡田さんにはまた多可町内の収録にも回ってもらわなあかんんですけど、そういう形でVTRで愛称発表させていただいて、町長のほうから採用者に賞品の授与をしていただきます。

第2限目です。いまのところ7学校です。

西脇高校さんから説明しますと、いまちょうど多可町の先生が西脇高校におられまして、こういう多可町生涯まちづくりプラザのワークショップをしますっていうのを全生徒にいったところ、すぐに8名の1年生が自ら来たらしいです。その中には4名の多可町の子も含まれています。いま一生懸命8人でやってるそうです。先生とはラインでやり取りしながら進捗状況を聞いてるんですけど、なかなか先生自体も8人も来ると思ってなかったですし、無理から生徒会にさせなあかんかなと思ってたらしいんですけど、まさか1年生が8人も来るのにはびっくりされています。

2つ目の西脇北ですけど、ダンスグループのドロップさんの中に西脇北の生徒がおられます。非常にこの子が発表が上手というか、ちょっと先週に大会があったんですけど、兵庫県の大会でそういう夜間の学校の発表会があって残念ながら県の代表には選ばれなかったんですけど、素晴らしい発表をする生徒です。その子が出会うとともに私にさせてと自ら言ってきたんでお任せをさせていただいています。

次に中学生のグループ。播州歌舞伎で、中プラザで毎週金曜日に練習してる子たちなんですけど、中学生が4人います。1回目のワークショップにも参加していただいた子が1人中にいて、こども未来課を通じながら、また僕がここに寄りながら中学生らしい発表をしていただく予定です。

多可高校です。なかなか今まで多可高校にいろんな声かけをしても、こういうワークショップだけじゃなしになかなか難しいところがあったんですけど、今回、今校長先生が多可町の方やということもあったんでしょうか。学校に行った翌日に校長先生からすぐにさせてくれということで、もう1回生徒に説明をしに来てくれと言われてまた次の日行ったんです。そしたらホールに生徒会だけやからたぶん3~4人やろなと思ったら20何人来てました。1グループにまとめて集約してくるのか、20人くらい集まってたから4人ずつのグループをつくってやるのか、ちょっとそこら辺はその担当の先生と打ち合わせをしながら、あまり多くなっても困るのし、でも出来る限りみんなに参加してほしいところです。

北はりま特別支援学校です。校長先生が非常に熱心な方で、課長と一緒に行かせていただいで、正直言いますと最初難しいかなと思ってました。もしくは検討はいただくけども発表は私が代理ですか何かかなという感じで思っています。今もまだちょっとそれは分からないんですけど、4日後校長先生から電話があってぜひ参

加させてくれと。地元の施設やからと言われました。やっぱり北はりま特別支援学校とか多可高校は地元の意識がすごくあって、これも担当の先生とやり取りしながらしています。

日本語教室に通っている外国人の方なんですけど、実際に日本語教室には今は通っていません。もう卒業してこちらに住んでる方になります。外国人の方もプラザを使っていたきたいんで、そういったところから話をさせていただきます。

最後に兵教大の大学院の方です。もうすてにまちづくりとか諸々いろんなところで団体でされてる方なんですけども、ここはちょっと不透明なんです。非常に多忙な方みたいで、10月28日にズームで打ち合わせをして最終的に参加できるかどうかを決定する。だから7番はちょっと難しいかもしれません。ただこの1から7すべてただ単にやりたいこと、プラザでやりたいこんなことがしたいんだとかそういう発表は1回目で終わってるんで、そこから飛び越えてこのやりたいためにはどんな運営であったりどんな施設であったり人であったりものであったり、そういったことも含めて話をしてほしいと伝えてます。ですから逆に発表する子たちにはハードルが上がったんですけども、一生懸命がんばってさせていただきます。このワークショップに関しては以上なんですけど、このワークショップを機にこの高校生たちのプラザの運営とかそういったところの話も出てくるでしょうから、このワークショップを1つの切り換えのスイッチとして、次からはプラザの運営、最終的なまとめのところの話を11月後半から1月くらいにはまとめが出せるようにまたご協力のほうお願いします。ですからまだちょっとこういった会議が2回か3回かはありますので、ご迷惑をかけますけどよろしくをお願いします。

あと3限目に希望者のみ建築現場の視察ということで現場に行きますけども、おそらくまだこのタイミングではまだ更地

(生涯学習課長)

たぶん掘り方をやってるんじゃないかなと。その現場の中に入って、プロジェクトの職員が説明をさせていただくというような流れで考えております。

(座長)

工事現場の視察もあります。最後になりましたが、これ決して私が1人で全部あたって回ったわけではないです。教育総務課長はじめ生涯学習課長にもいろいろとご尽力いただいて、校長先生等々連絡をとっていただいてようやくつながりができたということで感謝を申し上げたいと思います。

ワークショップの方でご質問等あれば挙手でお願いします。

(B委員)

今、話聞いてたらワクワクするようなものが出てきそうな気がするんですけど、このチラシってもう配られたんですか。

(事務局)

折り込みとかはしてはないんです。

(B委員)

2限目もうちょっと膨らんだ表現があったらわくわくドキドキ。

(座長)

それ専用のそれをメインにするようなチラシを作ったらいいの

(B委員)

見たら、申し込むのに今聞いたようなことが伝わってこないなと思ったのと、こんだけの話を25名しか聞かれへんいうのもあれやけど、会場があれやからです

	ね。
(事務局)	そうですね。あんまり大きくないので。
(B委員)	もし子どもさんが発表したったら親御さんも聞きに来てかもしれへんし。
(座長)	その子たちも何人来るかがね。発表するものだけじゃなしに応援団も来たいとかね。
(B委員)	たかTVには映るんですか。
(事務局)	たかTVは言ったら来てくれると思う。
(B委員)	こんだけ考えてくれてるのに25名だけが聞くって、なんかもったないような。今ずっと考えてくれてるでしょ。この課程を。だからそれに
(事務局)	記者発表もするんで新聞は来てくれるかもしれないです。
(座長)	ちょっとこれチラシ提案いただいたんで、これつくったときには高校とかまだ不透明だったんで、もうちょっと内容的に膨らませて
(A委員)	会場については
(座長)	会場がね。工事視察があるんで、ほんとはベルディーの会議室が広くていいんですけど、じゃあそれが終わって工事視察にあそこまで歩いてくれって言われたら
(A委員)	ロビーとかでできないんですか。
(生涯学習課長)	ロビーはちょっと
(座長)	正直いうとこれだけの高校が集まって一堂に会して、例えばもの売る家庭科クラブがケーキ売ったりとかそういう催しは県でもきます。応募が4つか5つ集まってるんですけど、こういう発表会でここまでの学校が集まるというのはすごいことだと思います。 西脇工業もほんとは行きたかったんですけど行ってないんです。別に断られたわけじゃないです。これ以上いれると8も9もなってくるので、西脇工業も行ったらね。ほんとは北条高校も来たい言ってたんですね。ただ学校の100周年記念と重なって、最初に手を挙げていただいたのは北条高校だったんですけどね。北条高校も多可町から行かれてる生徒さんもおられるんで。
(E委員)	何か演奏で参加していただくとかできないんですか。せっかく手を挙げてくださったのに。
(B委員)	2時限目を主に置くか、3時限目は来る人だけ来てもらったらいうたらベルディ

	一ホールでもできますよね。
(事務局)	空いてないかな
(座長)	<p>2限目はたかTVで50分番組で流していただいて。でもそれくらいの値うちはあると思います。</p> <p>多可高含め北はりま特別支援学校も西脇高校も。これ工業も行きたかったんやけどね。相生学園の多可教室の生徒さんもあったんです実は。卒業生の子が1人宍粟の森林組合で働いてて話がしたいということもあったんですけど、これ以上増やしてしまうと1人10分にしてるんで、多可高でももしかしたら3グループみたいに分かれてしまうとこれは終わらへん。まあ実際10分は長いんでたぶんもっと短くなってくると思います。</p>
(生涯学習課長)	ロビーなあ。
(事務局)	ロビーでもできんことはないかな。
(生涯学習課長)	舞台つくらなあかんやろ。
(事務局)	アリーナが何もなければ。
(生涯学習課長)	ああまあそうや。アリーナ広いからな。まあちょっと会場もう1回見て
(教育総務課長)	ロビーはいけるの
(事務局)	場所貸しには、まあほかの来客とけちあわへんようにだけ。
(事務局)	アリーナが大々的にどっかが使ってるのと、ロビーはちょっと。
(生涯学習課長)	そこでいっぱいになるからね。
(事務局)	いちおう押さえといたら
(生涯学習課長)	押さえてある。じゃあアリーナありかな。
(座長)	アリーナ寒くないですか。
(生涯学習課長)	寒い？ならアリーナなしのロビーで。
(座長)	<p>で、ちょっとこのチラシ先ほど言われたとおりなんです。チラシがこのチラシなんでちょっと意味合いがわからずに、いま実際参加者は募集してますけど、第1回目のワークショップに来られた方くらいに興味を持たれている程度で、2限目がこういう内容だということを言ってないんで</p>

(生涯学習課長)	ちょっと会場のあれは見て、ちょっと現状じゃなしに広いところで考えさせていた だいて。
(座長)	人数的なものも出てきだしたら。場所だけ押さえておいていただいて。
(生涯学習課長)	とても楽屋もないでいうことだったらちょっと考えなあかんし、空いてる状況も 見て考えさせてもらったら。
(座長)	この播州歌舞伎の中学生の練習の休みの間の10分くらい話したんですけど、も う1発OKなんですね。しゃべらせてって。今の子はそうなんやと思って。ほんま に理解したんかなとか思いながら。
(生涯学習課長)	檜舞台がほしいとか。
(座長)	そうなんですかね。正直いうと中学生はこのグループしか4人しか声かけてない から4人だけなんですけど、もっと広く声をかけるところがあったらよかったん ですけど。
(生涯学習課長)	最悪3時限目カットで。別にこれ必携ではないんで。こういう取り組みもよそで やってるところがあるので、現場を見たら見たで広さを実感できたりとか妄想が膨 らんだりとかそういうことで入れてる部分なので、こんなに2限目が膨らむとも思 ってなかったんで、そこは臨機応変にやらせていただいたら。
(座長)	9時スタートの9時20分くらいには愛称の募集が終わると思ってたので、それ から100分だから11時くらいには終わるかなって思ってたんです。
(生涯学習課長)	まあ出入りもあったり、思わぬ質問がたくさん出たり。
(座長)	これたぶん全然高校は別じゃないですか。高校生同士の交流とか今後できてく ると思うので。
(A委員)	高校生の中から現場見に行こうよみたいな。想定はしといたほうがいいね。
(生涯学習課長)	まあもし出たら送迎せなあかんね。公用車2台くらい借りとして。
(座長)	多可高校はいま120?全員で何人でしたか。
(教育総務課長)	160人です。3学年全部で160人。
(座長)	5分の1が教室にいましたということやね。 どうなるかわかりません。それこそ子どもたち一生懸命ほんまに、いろいろと質 問がきます。パソコンの方が伝わりやすいのかとか、手で書いたほうがいいのかな とか、ざらばん紙使ってもいいですかとかね。

(A委員)	<p>ちょっとご提案していいですか。思いつきで大変申し訳ないんですけど、今度まちプラの隣に中学校ができるというお話もあるので、ここの発表者にはならないけどその雰囲気っていうか、高校生たち、中学生も含めて発表者の雰囲気を仮想の新生多可中学校の子たちをそこに何人かでも呼べないかなと。呼んでその場の雰囲気を一緒に共有してもらえらる場にしたらどうかなとちょっと思いますけど。</p>
(座長)	<p>わかりました。このワークショップにいまの中学校の2年生はまだ新しい中学校じゃないですよ。</p>
(教育総務課長)	<p>いまの小学校6年生。4・5・6ですね。</p>
(座長)	<p>だからその子らが何人か来てワークショップの雰囲気を味わえないかという話です。まあちょっとうーん。参加者を募集する中で、いま確かに気持ちはわからないでもないです。言われることは分からないでもないんで。そういう先輩がいてるよっていう。了解です。参加者の中で子どもさんに一緒に来てもらう。</p>
(A委員)	<p>ちょっと小学生っていうのがどうなるかわからないですけど、中学生をいずれ高校へも行くし、中学生をもっとその場に合わせられないのかなって。</p>
(教育総務課長)	<p>このチラシは10月の校長会で配ってます。お知らせはしてますので。</p>
(座長)	<p>でもあまりハードルを高くすると、今考えてる子たちがかわいそうなんで、かなりプレッシャー与えてるんで、ここあかんでとか僕普通に言うてしまうんで、宿題以上に悩んでると思います。でもね、なかなか多可町の子も捨てたもんじゃないというか、これから20年30年先も多可町は十分大丈夫であるなど。また僕らが知らないだけでこういう素晴らしい大人も子どももいてるんやなとか、やっぱり校長先生や担当の先生の協力があつてのことだと思うんで、素直にすぐに受け入れをしてくれたのでほんまにありがたいと思います。</p> <p>生涯学習課長、北はりま特別支援学校同席していただいたんですが何かありますか。付け足しは。</p>
(生涯学習課長)	<p>特になくて、任せとけみたいな感じやったね。どっちかという。校長先生、教頭先生そんな感じでした。</p>
(座長)	<p>それでまた途中経過、最終的には参加者の方の資料も作らなあかんで、締め切りは11月の第1週目くらいをみんなには言ってます。コピーとって準備もせなかんからいうて。リハーサルをしたかったら早めに言ってよとかいう話をしてるので、また事務局のほうに問合せ等あったらよろしくお願いします。</p> <p>今の内容でワークショップももうちょっとわかりやすいチラシを作ってPRしますけど、ぜひみなさんもPRしていただいて、聞くワークショップになりますけども、ある面、心のワークショップというか未来のワークショップというか、そういったことが聞けるので非常に楽しみにしてます。ぜひご協力のほどよろしくお願いします。</p>